

南湖保存及び利活用に関する計画

令和2年3月

白 河 市

【目次】

1. 計画策定の概要	
(1) 計画策定の背景	1
(2) 計画策定の目的	1
(3) 計画の位置付け	2
(4) 南湖公園及びその周辺地域に係る主な関連計画の基本理念等	3
(5) 南湖保存及び利活用に重要な区域の設定	4
(6) 計画の期間	4
2. 南湖公園等を取り巻く環境の変化	
(1) 南湖公園及びその周辺地域の環境変化	5
(2) 国道294号白河バイパスの整備による期待される効果	5
(3) 国道294号白河バイパスの整備による交通の変化	6
(4) 国道294号白河バイパスの整備による土地利用の変化	7
(5) 白河市のシンボルと交流拠点として期待される役割	8
3. 南湖公園の保存と利活用に向けた課題	
(1) 南湖を知ること	9
(2) 連続した動線の確保	10
(3) 安全性・快適性の確保	11
(4) 誘客の促進	12
(5) 都市化による遠景との分断	13
(6) 湖水の環境保全	14
(7) 南湖公園上流区域（南湖西側区域）の土地利用	15
4. 各区域における施策の展開	
(1) 区域設定の考え方	16
(2) 南湖北側区域	17
(3) 南湖南側区域	19
(4) 南湖東側区域	21
(5) 南湖西側区域	22
(6) 各区域共通	25

参考資料

(南湖の本質的価値（抜粋）)	26
(南湖及びその周辺区域図)	27

※本計画における「南湖公園」の表記は、太政官布告により公園として開設された明治13年以降の状況を示す場合に用い、南湖築造時等明治13年より前の状況を示す場合は「南湖」の表記を用いる。

1. 計画策定の概要

(1) 計画策定の背景

南湖は松平定信の「士民共楽」の理念のもと築造され、大正 13 年に国史跡及び名勝に指定された。以来、四季折々に風情があり、多くの人々が集う行楽地として、利用が図られてきた。

昭和 40 年代以降、高度経済成長に伴う地域の発展とともに、南湖公園を取り巻く社会情勢が変化し、景観や自然環境にも少なからず影響を及ぼすようになった。

こうしたことを受け、史跡名勝として適切に保存を図るため、昭和 57 年に「史跡名勝南湖公園保存管理計画」を、さらにその後の状況変化を踏まえて平成 20 年に「史跡名勝南湖公園第 2 次保存管理計画」を策定し、対応を図ってきたところである。また南湖公園内の活用を図る目的で、平成 29 年に「史跡名勝南湖公園整備基本計画」を策定した。

一方、南湖及び周辺地域を取り巻く社会環境は、現在整備中である国道 294 号白河パイパスの完成が間近となるなど、さらに大きく変わろうとしている。

このため、両計画が示す南湖の本質的価値（別記 26 ページ参照）をはじめとする歴史的文化的価値や良好な自然環境等を将来へ継承していく上で、周辺地域を含めた南湖の保存及び利活用のための課題の抽出とその解決に向けた方策を示すことが急務となっている。

(2) 計画策定の目的

南湖築造における定信の「士民共楽」の理念は、季節を問わず誰でも、いつでも楽しむことができる開かれた場の創出であった。

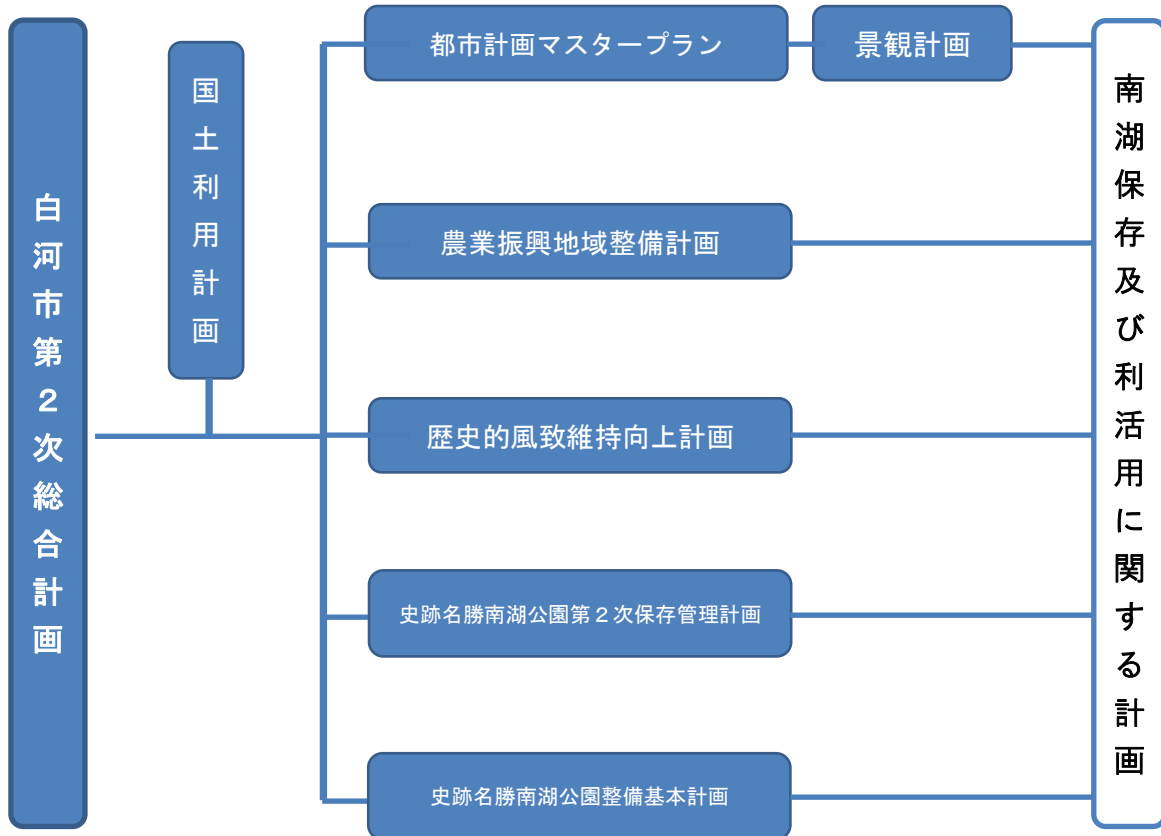
この理念を踏まえ、南湖公園は、白河関・小峰城と並び「白河」の象徴的存在として、市民はもとより多くの来訪者に親しまれており、交流人口を呼び込む県南地方最大の魅力スポットであることから、南湖公園のポテンシャルを最大限活用し、市の活性化に結び付けていくことが重要な課題である。

このため、本計画は、南湖を守り・魅力を高め、後世に引き継ぐことができるよう南湖公園及び周辺区域における諸課題を整理した上で、それに対する各種施策を明示するとともに、これらを市民と共有するために策定するものである。

(3) 計画の位置付け

上位計画及び関連計画との整合を図り、本計画を定める。

【計画の体系図（イメージ）】



(4) 南湖公園及びその周辺地域に係る主な市の上位計画及び関連計画の基本理念等

第2次総合計画

【将来像】：「みんなの力で未来をひらく歴史・文化のいきづくまち白河」

【まちづくりの理念】：①安全・安心でやすらぎのあるまち

②活気と魅力にあふれ、愛着と誇りを持てるまち

③一人ひとりの絆とみんなの力で輝く未来をつくるまち

国土利用計画

【目的】：国土の利用に関する基本構想

【基本方針】：①コンパクトで質の高いまちの実現 ②豊富な自然環境との調和

③安全・安心なまちづくりの実現 ④市民とともに考える土地利用

都市計画マスタープラン

【目的】：都市計画に関する基本的な方針

【都市づくりの方向性】：生活密度の高い（コンパクトな）まちづくり

【将来都市像】：「交流創造都市 ふるさと白河」

農業振興地域整備計画

【趣旨】：農業以外の土地利用との調整を図りつつ、農用地を十分に確保すること、農業生産の近代化を図るための必要な条件を備えた農業地域を保全し、形成すること。

【基本理念】：農業振興を図ることが必要な地域の施策の計画的・総合的な推進

景観計画

【目的】：良好な景観の形成に関する総合的な方針

【基本理念】：みんなで育む美しいふるさと白河

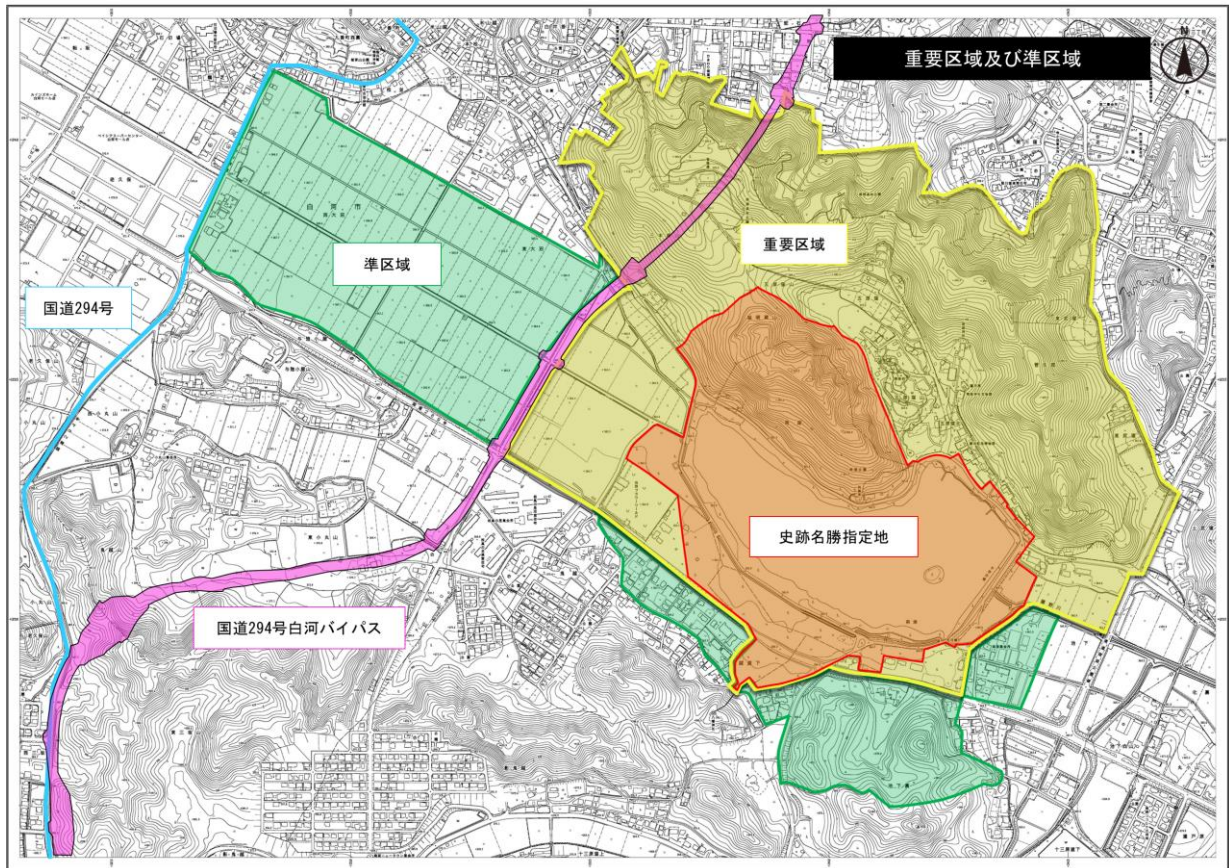
【目標】：白河らしい歴史的景観を守り伝えます、豊かな自然景観を守り伝えます、優れた眺望景観を守り伝えます、ふるさとの田園景観を守り伝えます 等

歴史的風致維持向上計画

【目的】：地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律に基づく地域に残る歴史的・文化的資源を見つめ直し、それらを活用した白河らしいまちづくりの推進

(5) 南湖保存及び利活用に重要な区域の設定

周辺環境の変化を踏まえた南湖公園への影響や保存と利活用を図る上で必要となる施策を中長期的な視点から総合的に勘案し、下図の黄色枠線の内側を「南湖保存及び利活用に重要な区域」（以下「重要区域」という。）として設定する。また、緑色枠線の内側をこの区域に準じる区域（以下「準区域」という。）として設定する。



(6) 計画の期間

本計画の計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とする。
なお、期間内においても必要に応じて計画の見直しを行うものとする。